

バオバブの会ニューズレター 通巻 12 号 2010 年度 1 号 2010 年 2 月 11 日発行

1 月が終わり、立春も過ぎたとはいえ、まだまだ寒さは続いております。

皆様方には、お元気でお過ごしでしょうか。

バオバブの会では、去る 1 月 31 日、年次総会を開催し、任意団体としての 3 年目をスタートいたしました。今年もまた、皆様方のご協力、ご支援をどうぞよろしく願いいたします。

* 年次総会報告 *

1 月 31 日（日）、横浜駅西口の神奈川県民サポートセンターにて、2010 年度の年次総会が開かれ、運営委員改選、2009 年度活動報告、2009 年度決算、2010 年度活動計画、2010 年度予算などに対し、活発な討議がなされました。一部をご紹介します。

●新運営委員（2 年の任期満了に伴い、改選されました）

会長	エル・ハッジ・マサンバ ディウフ
副会長	坂本
事務局長	水野
副事務局長	田口
会計	黒木
（会計監査	曾我）

*2 年間、副事務局長を務めてくださったディウフ E さん、会計の W.T.さん、ありがとうございました。

●2009 年度のセネガルへの支援活動

・例年通り、サルム・ジャネ小学校、クール・サーバシ・チャム小学校、ンジャゴ小学校、サルム・ジャネ中学校に援助金を送りました。

・クール・サーバシ・チャム小学校図書館開設費用（本代、棚等の設備、備品代）とし 200,000 円を送金。また、図書館用品（ビニールカバー、はさみ、蔵書印、図書カード他）を送付しました。

・2008 年度に初めて作成し送付した、学校調査フォーム（全 3 ページ）には、4 校全部からすべて回答がありました。

・2009 年度は、改訂版（A～F 全 6 ページ）を作成し、送付しました。

●2010 年度の活動計画（国内）

・国内では、昨年度通り、アフリカン・フェスタ（6 月 12 日（土）13 日（日）横浜赤レンガ倉庫広場）、横浜国際フェスタとみどり多文化フェスタに参加する予定の他、秋のグローバル・フェスタへの出展も考えていきます。

・3 月 28 日には、第 2 回 GOSPEL FOR PEACE への参加が決定しています。

・今年度は、バオバブの会独自のイベントを企画、開催する予定です。

・学校間交流を推進します。

・現地代理人ディム・チャム氏の提案で作成中の、会員やサポーター、毎年、アルミ缶を集めたお金を寄付していただいている笹山小などへ向けた感謝のビデオ・レターを、活用していきます。

・バオバブの会ホームページを開設します。

●2010年度の活動計画（国外）

・4つの学校に、定例の援助金を送ります。また、定例支援先を2校ほど増やします。

・障がい児支援を始めます。チアバ小学校校長アマディ・ディアロさんのグループへの支援ならびに、学校調査フォームの回答をもとに、現在、会が支援している4つの学校においても障がい児支援を実施します。

・クール・サーバシ・チャム小学校の図書館がまもなく開館しますが、その後の経過をみて、図書の補充をしていきます。移動図書館、または二つ目の図書館建設も考えていきます。

★学生会員用の会費（年会費 1,000 円）を新設しました。皆様のお知り合いに、バオバブの会の活動に関心をお持ちの学生の方がいらっしゃいましたら、どうぞお知らせください。

* イベントのご案内 *

第2回 GOSPEL FOR PEACE（参加決定）<http://www.gospel-sq.com/gp2010/>

2010年3月28日（日）開場 15:30 開演 16:00 終演 19:00 新宿文化センター大ホール
前売り 1,800円 当日 2,300円（全席自由）

前売り券は、チケットぴあ、ファミリーマート、サンクス、サークルKでお求めになれます。

NGO ゴスペル広場 <http://www.gospel-sq.com/gp2010/>は、日本人ゴスペル・アーティスト、ナナ・ジェントルさんにより、「ゴスペルを楽しく歌いたい」「社会に貢献したい」という二つの思いを結びつけるため、2007年10月に設立されました。「楽しい時間のために使ったお金が、別の場所で大きな力となる」を合言葉として、ゴスペルレッスン会費の一部を複数の国際支援NGOに寄附する等の活動を行っています。現在、渋谷のゴスペルスクエアと横浜・町田・立川・三重・長野のサニーサイドゴスペルクラブの6団体（総称：ゴスペルスクエア・ファミリー）で活動を展開しています。

昨年7月には、サニーサイドゴスペルクラブ三重と横浜が、バオバブの会のためのチャリティーワークショップを開催し、106,800円を寄附してくださいました。

3月28日には、活動2年目でメンバー総数800名となったゴスペルスクエア・ファミリーが、ニューヨーク出身の黒人シンガー2人を迎え、昨年が続いて、第2回の合同チャリティー・コンサートを行います。今回は、支援NGO5団体のひとつとして、バオバブの会も参加させていただくことになりました。ロビーでは、ケベサック、アクセサリ他の販売も行います。

どうぞ、お誘い合わせていらしてください。

* ハイチ大地震復興支援への協力 *

今回のハイチ大地震に関しましては、皆様も、様々なお立場で、復興支援に協力されていることと思います。バオバブの会としましては、かながわ復興支援ネットワークからの要請に応じて、「ハイチ大地震教育復興支援プロジェクト」<http://ynn-ngo.org/haiti/>に賛同し、寄付金 5,000 円を送りました。

かながわ復興支援ネットワーク <http://ynn-ngo.sakura.ne.jp/modules/tinyd7/index.php?id=3> とは、神奈川で活動する仲間の NGO の支援地域が、今回のハイチ大地震のような大きな災害を被災し、当該 NGO が復興支援の活動を実施する場合に、日常的には他地域を支援している、同じ神奈川の NGO や関係機関、市民や企業が互いに協力し合って、当該 NGO の支援活動を応援しようという趣旨で作られたものです。現在の運営委員団体は、(財)かながわ国際交流財団、(財)横浜市国際交流協会、(特活)横浜 NGO 連絡会、かながわ開発教育センター、(特活)草の根援助運動、(特活)地球の木であり、事務局は(特活)横浜 NGO 連絡会におかれています。過去に、ジャワ島中部地震・被災地 NGO 支援 (2006) ミャンマーサイクロン被害復興支援 (2008) フィリピン台風被災者支援 (2009) の活動を行っています。

今回の災害については、ハイチの教育支援活動を行っている「ハイチの会セスラ」(横浜市中区)を募金の寄託先として、「ハイチ大地震教育復興支援プロジェクト」を立ち上げました。

バオバブの会としては、要請を受け、運営委員会で検討したところ、

- ・相互扶助という観点から、かながわ復興支援ネットワークからの呼びかけにはできるだけ応えたい。
- ・ハイチ大地震の災害規模が甚大である。
- ・ハイチの会セスラは、バオバブの会と同じく、子供たちの教育支援活動を行っている団体である。
- ・発展途上地域においては、「学校」がしばしば地域の中心拠点となるので、セスラの学校復興支援は地域復興にも効果的である。

等の意見が出され、その結果、会として 5,000 円を寄附することを決定しました。

*** セネガルからの感謝状 ***

*2009年6月26日付けの、クール・サーバシ・チャム小学校からの手紙(要約)をご紹介します。

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ氏 並びに バオバブの会の皆様へ

皆様におかれましては、お元気でお過ごしのことと思います。

まず初めに、クール・サーバシ・チャム小学校の子供たち、教員一同、そして、本校に通っている子供たちの住む3つの村、クール・サーバシ・チャム、ジャイアン・ムサ、クール・ヨロ・ディオップの住民一同から、皆様へ、心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

皆様のご支援のおかげで、本校の教育環境は、年々、改善されてきております。今年度も、先にお送りした手紙でお知らせしましたように、運営委員会において支援金 20 万フランセーフアの使途を計画しました。そして、この度、予定していたすべての事業を終えることができましたことを、ご報告いたします。

中でも、学校菜園作りは、今年度の大きな活動でした。金網による囲いを設けることで、トマト、キャベツ、サラダ菜、ハイビスカス等の野菜や、カシューナッツ、マンゴー等の果樹を育てることができました。そして、これら子供たちの大好きな野菜で、学校給食のメニューを改善することができました。また、

余った収穫物を売ったお金で、今年度の終了をお祝いする会を持ちました。コーランを読んだ後、定期テストの成績の上位5人の生徒、また、6月23, 24日に行われる中学校入学試験の模擬試験で優秀な成績を収めた生徒たちを表彰いたしました。

全ての支出は、レシートのあるもの(156, 850フランセーファ)、ないもの(35, 680フランセーファ)共、全てきちんと記録済です。残金は7, 470フランセーファでした。

こちらは、これから9月末まで、3ヶ月間の夏休みに入ります。夏休み中の学校菜園の管理は、村の庭師に委託しました。

最後に、皆様とご家族の、ますますのご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。

★なお、使途報告書によりますと、校庭に、コルディアック、マレーナ、バンダニエ、ゴヤベスその他の木を全部で11本植えましたが、これらの木は ・早く育ち、大きく枝葉を広げるので、良い日陰を提供する ・葉や樹液が薬として役立つ ということで選定されたそうです。そして、学校の子供たちだけでなく、村の人々にもおおいに利用されるようです。学校が地域の中心としての役割を担い、教育支援・学校支援が地域支援にもつながる可能性をもつ、ということがわかります。

*バオバブの会は、皆様に会の活動をお伝えするため、本年度も、随時、ニューズレターを発行・送付していきます。が、ご事情により今後のニューズレターをご辞退される方は、下記までお知らせください。

*次号以降のニューズレターにつきましては、経費削減のため、PCのメール・アドレスをお持ちの方には、メール添付による送付を中心にしていきたいと考えております。メール・アドレスをお持ちの方で会にアドレスを登録されていない方は、下記宛て、お知らせくださると幸いです。が、メール・アドレスをお持ちでも郵送をお望みの方には、これまでどおり郵送させていただきます。

*バオバブの会では、常時、会員を募集しております。入会を希望される方は、下記までお問い合わせください。

バ オ バ ブ の 会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町 993-35

TEL&FAX 045-373-0059

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行 八重洲通り支店普通口座 no.1523673

ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215